

株式会社エムセック（広島県）

【フィットネスクラブの運営、コンピュータおよび及び関連機器による情報処理事業等】

商工会議所のイチオシ

女性が活躍する職場における女性社員の育成についてご紹介いたします



LEADER

代表取締役社長 小島 勘次 氏

広島県三原市で、フランチャイズのフィットネス事業を展開する株式会社エムセック。女性のお客様を対象としたフィットネスクラブでは、コーチは全員女性を雇用。女性が活躍する職場における女性の雇用や育成について、代表取締役社長・小島さんの取組をご紹介します。

フィットネス事業で女性の活躍を実現！
「ジョブ・カード制度」を活用し、女性コーチを採用・育成

■背景・きっかけ:

当社は、昭和60年12月に広島県三原市近郊で、コンピューターシステムの販売やシステム開発など、情報処理事業により創業をはじめ、より地域に密着し、地域に貢献するような事業を展開したいという思いから、平成18年6月より、フランチャイズのフィットネス事業を開始した。健康面において地域住民の幸福を実現するべく、三原市に第一号の店舗を設け、現在は広島県や山口県、福岡県にまで店舗を拡大、計15店舗を展開している。従業員は、総勢71名（うち、フィットネス事業は61名）。女性のお客様を対象とするフィットネス事業では、コーチは全員女性を採用している。

■取組内容:

当社のフィットネス事業では、女性のお客様を対象に、健康増進と幸福を創造・提供することをモットーに、コーチの採用にあたっては、「人の喜びを自分の喜びと考えることができる人」、「本気になれる仕事を探している人」を求めている。新規オープン店舗による人材確保が急務であり、一方でこのような当社の理念や思いを深く理解し、共に取り組んで行くことができる人材の確保に頭を悩ませていたところ、職場で働きながら研修を実施できる「ジョブ・カード制度」の有期実習型訓練の存在を知った。



■効果・成果:

訓練生は約6か月間の訓練により、当社のインストラクターとしての心得を身に付け、訓練終了時には女性のお客様からのニーズと期待に即座に応えることができるプロのコーチへと成長する。当社では、社員が同じビジョンと意識のもと100%その持てる能力を発揮しながら誇りを持って「働きがい」のある会社になる事が大切であると考えている。中でも、女性コーチが活躍するフィットネス事業では、働く女性の意識が何よりも重要であり、制度導入により正社員としての採用前からそのような意識の醸成が可能となった。また、制度の導入に伴い、体系的な育成・教育システムを新たに構築することができ、従業員の成長が企業の成長と考える当社にとって大変収穫であった。



中小企業の実践ポイント

- ▶ 訓練期間中から会社の理念やビジョンの共有化を図ることで、正社員としての採用にあたり、即戦力としての活躍を可能とする
- ▶ 「ジョブ・カード制度」を活用し、人材の育成・評価システムを新たに構築

■今後の展望と課題:

地域への貢献をと始めたフィットネス事業も、現在は15店舗、6750名以上のお客様が通われて、日々汗を流し元気に「筋トレ」を続けている。お客様をサポートする女性コーチやスタッフ一人一人を丁寧に育成すると共に、従業員が常に向上心を持って、成長できる環境づくりに力を注いでいきたい。

日本商工会議所「ジョブ・カードセンター」<http://www.jc-center.jp/>
厚生労働省「ジョブ・カード制度」http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/job_card01/

【企業データ】

代表者	代表取締役社長 小島 勘次	会社設立年	昭和60年	従業員数	71人(うち女性65人)
本社所在地	広島県三原市城町1-12-5	ホームページ	http://www.msec.co.jp		
事業内容	フィットネスクラブの運営、コンピュータおよび及び関連機器による情報処理事業等				